

学苑



第14回 旭祭



硬式野球部



第49回 鳩山祭



2025年度 父母懇談会報告

参加者のみなさまからの声 p.5

第18回 研究室訪問 都市デザイン研究室

土田 寛教授インタビュー p.15

TDUトピックス

学園祭(第14回 旭祭・第49回 鳩山祭) p.9

第23回 TDU アイデアコンテスト 開催結果報告 p.11

仲間づくり支援【リーダーズキャンプ】 p.13

卒業生による仕事研究セミナーを開催 p.17

Topics

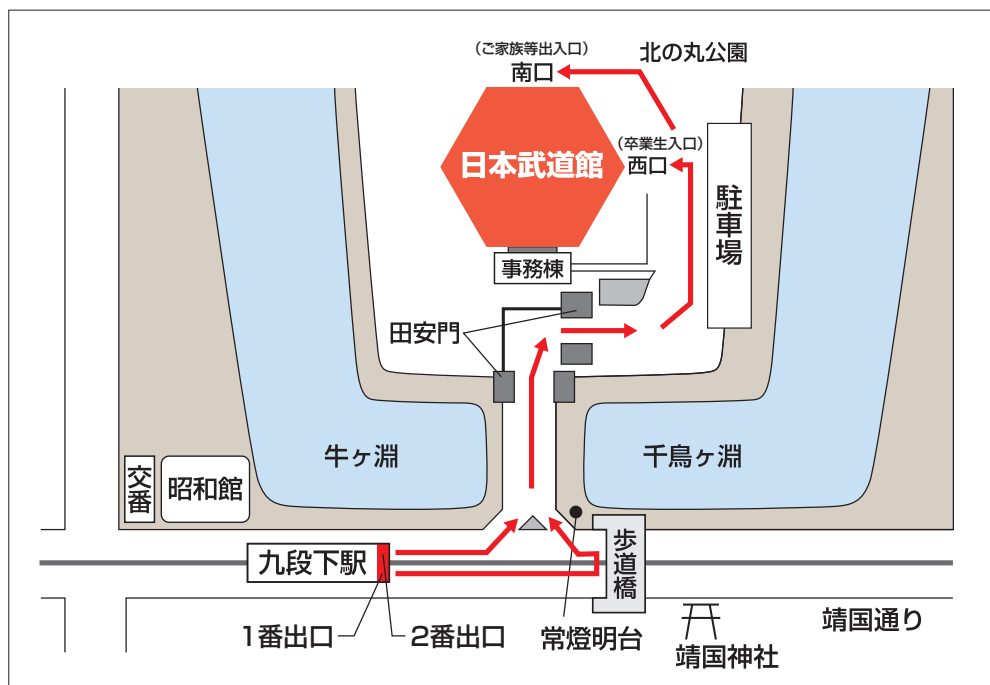
後援会が支援した部活動の大会結果 p.14

硬式野球部

2025年度 東京電機大学大学院修了式並びに
東京電機大学卒業式のご案内

2025（令和7）年度大学院修了式並びに大学卒業式を下記のとおり実施する予定です。
ご家族等の付添者の方もご参加いただけます（事前の登録等は不要です）。
詳細は、大学Webページでお知らせします。

- 日 程：2026（令和8）年3月19日（木）
- 時 間：午前10時開式（午前9時開場）
※午前9時40分までに入场してください。
- 場 所：日本武道館
- 式典に関するお問い合わせ：学長室（E-mail：tdupres@jim.dendai.ac.jp）



日本武道館

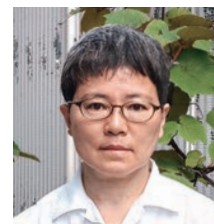
所在地 東京都千代田区北の丸公園 2-3

- 下車駅 東京メトロ 東西線九段下駅
- 東京メトロ 半蔵門線九段下駅
- 都営地下鉄 新宿線九段下駅
- ★2番出口より徒歩5分



皆さまには後援会活動へのご理解・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

前回の学苑Vol.172でご報告した以降の後援会事業内容につきまして、主な活動状況をご報告させていただきます。



後援会長
新澤 佳代

【常任評議員会】

11月8日(土)、1月24日(土)に常任評議員会を開催いたしました。2025年度の後援会事業報告、2026年度の後援会事業計画(主に父母懇談会の運営について)審議しております。

【広報活動】

11月8日に学苑委員で、未来科学部建築学科の土田寛教授の「都市デザイン研究室」に取材訪問し、都市デザインについてのお話し、学生の研究についてなど聴くことができました。本誌に掲載しておりますので、ご覧ください。

【学生支援活動】

「第23回TDUアイデアコンテスト」では審査員として参加させていただきました。問題を「解決」するためのアイデアを学生が日々の生活の中から、勉強や研究の中から見つけ出し発展させ、解決しようとする姿勢に、頼もしさを感じました。応募されたアイデアの多くは、効率化をはかるものでしたが、大学生という自

分自身の時間は、効率化だけを求めるのではなく、いろいろなことに挑戦し、一見して無駄だと思われるようなことに取り組んでみることも大切なのではないかと思います。アイデアがあふれて止まらなくなるような大学生活をしてほしいと思いました。

後援会長賞は、学食のデリバリーサービス「dber Eats」のアイデアにしました。昨年より後援会で取り組んでいる学食の割引サービスも、学生にしっかりと食事を摂ってほしいという思いが込められています。ぜひ、このアイデアを具現化してほしいと思い選びました。

アイデアコンテストについても本誌に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、12月には、昨年、千住・鳩山の両キャンパスの学生食堂で試験的に行いました「通常の定食等を約半額で提供する企画」を、昨年の反省を踏まえて実施し、両キャンパスともに多くの学生に利用してもらえたようです。次年度に引き継いでいきたいと思っております。



2025年度 父母懇談会 事務局報告 (地方会場および全体)

今日では多くの大学において父母懇談会が開催されておりますが、本学では他大学に先駆け1967(昭和42)年から父母懇談会を開催し、ご父母・保証人と後援会役員、大学教員、大学事務局と共に懇親を深めつつ、大学の状況、教育、生活をご父母・保証人へお伝えしてまいりました。

今年度父母懇談会は、東京千住キャンパス・埼玉鳩山キャンパスと地方9会場にて9月～10月にかけて開催いたしました。昨年度に引き続き各学科・学系の教員による個人面談、事務職員による学修・就職・学生生活の個人面談を基本とし、キャンパス会場では一部施設の公開・利用やブースの拡大、地方会場では簡単な全体会をするなど、少しではありますが、充実した内容で実施いたしました。

また、併せて、学修・就職・学生生活の個別相談コーナーを設け、事務職員が対応いたしました。

お陰様で、昨年の参加者より多くのご父母・保証人のみなさまにご出席いただき、地方9会場も含め無事に終えることができました。ありがとうございました。

2025年度も父母懇談会を開催いたしますので、ご子女の通学されているキャンパス、あるいはお近くの地方会場へご出席いただき、同じキャンパスに通う学生のご父母・保証人同士の懇親を深めていただければと思います。

今後ともご父母・保証人のみなさまのご意見、ご要望を取り入れまして、より良い父母懇談会を実施していきたいと考えております。また、今年度父母懇談会開催にあたり、お世話になりました関係者の方々にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

*父母懇談会の地方会場にご参加いただいたご父母・保証人のみなさまより「父母懇談会参加者のみなさまからの声」(P5~7)が届いておりますので、ご覧ください。

2025年度 父母懇談会開催報告

地方会場

会場	開催日	後援会役員	面談教員 <small>※学部/学科/学系は略称のため下記参照</small>	2025年度出席者数	
静岡	9/28(日) 10:00~13:00 ホテルグランヒルズ静岡	新澤会長 平田副会長	EJ:渡邊 EH:五十嵐 EF:小林 EC:長谷川 FA:百田 FI:寺田 FR:残間 AJ:小川 RU:越智 RB:半田 RD:徳田 RE:大西 RM:松谷 RG:高田	31組	49名
大阪	9/28(日) 10:00~13:00 大阪キャッスルホテル	深見副会長 山口常任評議員	ES:小林 EF:藤田 EC:齊藤 FA:秋田 FR:岩瀬 RU:小黑 RD:柴山	6組	10名
新潟	10/5(日) 10:00~13:00 ホテルグローバルビュー新潟	飯田副会長 穴戸副会長	EJ:安達 EF:桑名 EC:河野 FA:秋田 AD:櫻井 RU:石原 RD:小河 RE:大越 RM:山崎	17組	26名
札幌	10/7(火) 18:00~19:00 オンライン開催		RE:住倉	1組	2名
宇都宮	10/12(日) 10:00~13:00 ホテルニューイタヤ	家永副会長 遠藤副会長	EJ:日高 EH:篠田 EK:齋藤 EF:森田 EC:鈴木 FA:本間 FR:石川 AD:齋藤 RU:山岸・中 RB:高橋 RD:陳 RE:荒船 RM:山崎 RG:宮地	43組	60名
長野	10/12(日) 10:00~13:00 ホテルJALシティ長野	穴戸副会長 風巻常任評議員	EJ:平栗 EF:古谷 EC:今井 FA:笹谷 FI:川澄 FR:岩瀬 RB:村松 RD:藤本 RE:塚原 RM:遠藤	14組	21名
水戸	10/19(日) 10:00~13:00 水戸三の丸ホテル	新澤会長 花島常任評議員	EJ:植野 EH:山本 ES:石丸 EK:染矢 EC:川瀬 FA:大崎 FI:森谷 FR:佐藤 AD:北 RU:向山 RB:根本 RD:秋山 RM:古屋 RG:見波	27組	39名
福岡	10/19(日) 10:00~13:00 アークホテルロイヤル福岡天神	家永副会長 水岡常任評議員	FI:服部 FR:松垣 AD:柴田 RB:栗山 RD:高橋 RE:田中 RM:渡利	10組	16名
仙台	10/26(日) 10:00~13:00 ホテルJALシティ仙台	新澤会長 飯田副会長	EC:平野 FA:大崎 FR:釜道 AJ:阿倍 RU:石井 RB:安部 RD:中山	8組	14名
地方会場 計				157組	237名

キャンパス会場(参考:学苑172号掲載分)

会場	開催日	後援会役員	面談教員	2025年度出席者数		
東京千住 キャンパス	9/6(土) 工学部・工学部第二部	新澤会長、増田常任評議員、高橋(浩)常任評議員、 高橋(愛)常任評議員、山口常任評議員、荒金常任評議員	各学科教員(61名)	438組	632名	
	9/13(土) 未来科学部・システムデザイン工学部	深見副会長、鈴木常任評議員、花島常任評議員、 風巻常任評議員、岡村常任評議員	各学科教員(65名)	402組	578名	
埼玉鳩山 キャンパス	9/20(土) 理工学部	新澤会長、穴戸副会長、平田副会長、遠藤副会長、 西園常任評議員、鈴木常任評議員、水岡常任評議員、 荒金常任評議員、伊藤常任評議員、岡村常任評議員	各学系教員(66名)	288組	437名	
<small>※工学部 (電気電子工学科:EJ 電子システム工学科:EH 応用化学科:ES 機械工学科:EK 先端機械工学科:EF 情報通信工学科:EC) 理工学部 理工学科 (理学系:RU 生命科学系:RB 情報システムデザイン学系:RD 機械工学系:RM 電子情報・生体医工学系:RE 建築・都市環境学系:RG) 未来科学部 (建築学科:FA 情報メディア学科:FI ロボット・メカトロニクス学科:FR) システムデザイン工学部 (情報システム工学科:AJ デザイン工学科:AD)</small>				本学キャンパス会場 計	1,128組	1,647名
総合計(地方+キャンパス)				1,285組	1,884名	

後援会役員より父母懇談会の報告

●副会長 平田 麻里(9/28 静岡会場)

残暑が落ち着いた静岡会場では31組の参加がありました。今回はキャンパス毎に着席、自己紹介をしていただいたところそれが良いきっかけとなり、ご父母同士の会話が弾んだように見受けられました。静岡から大学へは近いようでなかなか遠いとのことで、このような地方開催はとてありがたいと感謝のお言葉をいただきました。

●副会長 深見 美行(9/28 大阪会場)

秋晴れの大阪会場には三重県から来場された保護者もおられ、親元を離れ暮らすご子息の学校生活を少しでも知りたいという真摯な思いが伝わってきました。全体会では学校生活が垣間見れる後援会説明に真剣な眼差しが注がれ、個人面談後は保護者同士が就職活動への不安や希望を語り合い、共感が広がる懇談会となりました。

●副会長 飯田 智子(10/5 新潟会場)

新潟会場では、最初に一言ずつの自己紹介をしていただきました。

「離れて暮らしているからこそその不安、大学での様子、成績の事を知りたい」など、様々な思いを話されました。緊張していた会場の雰囲気もやわらぎ、面談が終わってからもご父母同士会話が弾んでおられるのを見て、父母懇談会の意義を感じることができました。

●副会長 遠藤 雅子(10/12 宇都宮会場)

台風の影響を心配していましたが、当日は天候に恵まれ、多くの皆様にご出席頂くことができました。「子供は何も言わないので何も分からない。こうした機会があるのはありがたい」と多くの方に仰って頂け、嬉しく思いました。全体会の際に皆様に軽く自己紹介頂いたことで、交流しやすい雰囲気が生まれ、皆様和気あいあいとお話されていました。ご父兄が主体的に情報を取りに行ける貴重な機会を今後も続けていけるようお手伝いして参ります。

●常任評議員 風巻 宏(10/12 長野会場)

初めて地方父母懇談会に参加させて頂きました。

長野会場では、14組の参加となりました。保護者の皆さん緊張されておりましたが個人面談後に保護者同士の情報交換も出来たのではないかと思います。有意義な時間でした。

口頭による自己紹介だけでは、お名前と顔が一致するのは時間的に厳しいと思うので、衣類に貼ることが出来る簡単な名札があると更によい懇談会になると思います。

●常任評議員 花島 史葉(10/19 水戸会場)

多くの保護者の皆様にご参加いただきました。先生方との個人面談では、「単位や成績状況を事前に把握してくださっており、学習の進め方や取り組み方について相談ができ参加してよかった」という声があり、大変嬉しく感じました。さらに、学修・就職・学生生活相談コーナーでも質問への対応がスムーズで、改めて家庭と大学をつなぐ貴重な交流の場であると実感しました。

●副会長 家永 朝香(10/19 福岡会場)

今年度より新たな試みとして取り入れた“参加保護者様による自己紹介”。単身赴任地より来られた方、他県より参加されている方などがいらっしゃるのことが分かりました。お子さんへの深い愛情を感じます。父母懇談会が親元を離れて頑張るお子さんたちの様子を知る場になればと思います。参加を見送られた保護者様も是非来年は参加をご検討ください。

●会長 新澤 佳代(10/26 仙台会場)

秋雨の肌寒い中の開催となりました。ご来場いただいた参加者の皆様とお話ができただけでなく、自己紹介でお子様の学科を知り、3年目にして始めて親同士もつながることができたとお喜びいただけたり、おいしいケーキとコーヒーでほっとされていたりと、会場内はとても温かく、和やかな父母懇談会となりました。



2025年度 父母懇談会報告 参加者のみなさまからの

地方会場

声

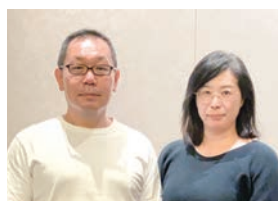
後援会主催の父母懇談会では、学内の最新の情報やご子女の学修、就職状況など、タイムリーに紹介されております。

また、同じ大学で学ばれているご父母・保証人同士の交流や情報交換の場としても活用していただけます。

父母懇談会へぜひご参加ください。



2025年度 父母懇談会/パンフレット



静岡会場

9月28日(日)

理工学部
情報システムデザイン学系
岡田 輝昭様・裕子様

昨年度より、息子が理工学部情報システムデザイン学系でお世話になっております。今年は父母懇談会を静岡で開催とのことでしたので、離れて暮らす息子の様子を知るべく、夫婦で参加いたしました。

全体会では、後援会による大学や学生への支援について

のお話があり、学食への支援を毎年行っているとのことでしたので、一人暮らしの子を持つ親として大変有難く思いました。個人面談では、卒業生の実例を挙げながら大学院進学のスケジュールなど詳しく教えていただきました。大学院進学について、親子間で漠然とした話しかけていなかったもので、大変参考になりました。

今回、父母懇談会に参加し様々な良い情報を得たことによって、今まで抱いていた心配や不安が解消されました。御父母の皆様には、是非参加されることをお勧めします。お忙しい中、このような機会を設けていただき、大学関係者の皆様ならびに後援会の皆様にご心より感謝申し上げます。



大阪会場

9月28日(日)

未来科学部
ロボット・メカトロニクス学科
伊木 孝宏様・薫様

このたび初めて父母懇談会に参加し、娘の学生生活や大学後援会の取り組みについてお話を伺うことができました。

神戸から東京へ送り出した当初は、学業や生活にちゃ

んと慣れていけるのかと心配していましたが、周囲の方々に恵まれ、充実した日々を過ごしている様子を知り、親としてとても安心しました。

課外活動や友人との交流も楽しみながら、多くの経験を積んでいるようで心強く思います。ただ体調を崩すことが時々あるので、生活リズムや食事、睡眠に気をつけて、健康第一で、これからの大学生活をさらに豊かなものにしてほしいと願っています。

今回、このような機会を設けてくださった大学や後援会の皆さまに心より感謝申し上げます。

静岡会場

大阪会場





新潟会場
10月5日(日)

工学部第二部 機械工学科
武 直子様

今年度から、息子が工学部第二部機械工学科でお世話になっております。地元の新潟で父母懇談会が開催されるとのお知らせをいただき、初めて参加いたしました。

懇談会は、まず全体説明会で、後援会事業の説明と参加者の自己紹介がありました。自己紹介は初の試みということでしたが、「子供が学校のことを話してくれない」、「単

位が取れていない」、「バイトやサークル活動で忙しくて帰ってこない」など、皆様が同じような悩みを持っていらっしゃるのことがわかり、不安を和らげることができました。続いての個人面談では、先生から直接、息子の成績とよく分からなかった大学の進級システムを教えていただきました。また、授業についていけない場合の対応方法なども教えていただき、懇親会後に息子と具体的な話をすることができました。

息子への心配は尽きることがなく、このような機会を設けていただき感謝しております。次回も是非参加させていただきたいと思っております。



宇都宮会場
10月12日(日)

理工学部 機械工学系
水谷 拓磨様・有希様

先日、宇都宮市で開催された父母懇談会は、離れて住む保護者にとって、大学の現状を直接知ることができる大変貴重な機会となりました。日頃はどうしても大学の雰囲気や学生生活の実際を知る機会が限られてしまうため、このように大学や後援会がわざわざ各地で説明の場を設けて

くださることに、心から感謝しております。当日は、大学の取り組みや授業内容、学生支援の体制、課外活動の様子など幅広い情報を丁寧に説明していただき、保護者としての安心感が一層高まりました。

さらに、教授より直接、成績状況や今後の進路について相談できる個別の時間も設けられており、短いながらも充実した対話ができました。子どもの学びの状況をより具体的に理解できただけでなく、将来に向けたサポートの方向性も明確になり、大変有意義な機会となりました。ぜひ、このような取り組みを今後も継続していただければ幸いです。



長野会場
10月12日(日)

理工学部 機械工学系
山本 雅英様・美淑様

息子が理工学部でお世話になっております。初めての父母懇談会でしたが、ゆったりとした和やかな雰囲気の中で、全体会・個人面談・個別相談に参加させていただきました。全体会では後援会の事業内容について説明があり、さまざまなイベントや学生に寄り添った支援が行われていることを知り、大変心強く感じました。

先生との個人面談を通じ、学校生活や成績の話を直接伺うことができ、今後の課題や対策等をご指導いただきました。将来を見据えての大学院や就職についてのご教示も非常に有益でした。一人暮らしゆえ、親子の対話も少なくなり心配しておりましたが、細やかなご配慮に感謝しております。

希望者による個別相談では、学修・就職・学生生活の各ブースで担当の方に質問させていただき、資料の理解をより深めることが出来ました。

貴重な機会を身近な地方会場にも設けてくださり、本当にありがとうございました。

新潟会場

宇都宮会場

長野会場





水戸会場
10月19日(日)

理工学部 機械工学系
永井 晴康様

本年度より娘が理工学部・機械工学系に入学しお世話になっております。地元開催により父母懇談会に参加できたこと、大学及び後援会の皆様に感謝しております。

個人面談では、担当の先生から、事前の聞き取り調査に基づき学業面だけでなく生活や部活の状況など詳しく説明していただきました。離れて暮らしていてもあまり連

絡もしてこないため、無事に学生生活を送れているか心配しておりましたが、知りたいと思っていたことを教えていただきありがたく思いました。学生に対する手厚い支援にとどまらず、父母への対応も真剣に考えられている大学の姿勢には敬服いたします。また、地方会場で参加者が少ないことによる特典かもしれませんが、予定時間を超えてたっぷり個人面談の時間を取っていただき、学生とは関係ないことも含めてざくばらんにお話しできてとても楽しかったです。

お忙しい中このような機会を設けていただきありがとうございました。



福岡会場
10月19日(日)

理工学部
情報システムデザイン学系
帯谷 貴文様・愛子様

本年度より息子が理工学部情報システムデザイン学系でお世話になっております。

親元を離れて生活している息子はきちんとやっつけているのだろうかかと心配であった折、父母懇親会が地方の福岡県で開催されるとの案内をいただき参加しました。後援会の方からは、大学の現況や支援状況の紹介などの興味

深い話を伺うことができました。

個人面談を待つ間には、参加されている父母の方とご子女の様子について情報交換ができ、また、学修、就職等各相談ブースでは、息子の前期の学修状況や今後の対策について細かなアドバイスをいただけました。個人面談では、学部の教授から息子の現状に加え、今後の専攻を検討するスケジュール、就職や大学院への進学、将来進むであろう分野や職種、先輩方が活躍されている業種等について詳しくご説明いただき、大変参考になりました。

お忙しい中このような機会を設けていただき大学関係者、後援会の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。



仙台会場
10月26日(日)

理工学部 理学系
小嶋 光康様・善恵様

本年度より、息子が理工学部理学系でお世話になっております。

このたびは、地方会場をご設置いただき、遠方に住む保護者として非常にありがたく感じております。全体説明会では、後援会の皆様より東京電機大学の校風や後援会活動、就職支援などについてご説明いただき、限られた時間

の中でも、学生一人ひとりに対する支援体制が非常に充実していることを実感いたしました。

また、個人面談では、息子と事前面談いただいた石井聡教授より、成績や生活状況について丁寧にご説明いただきました。進級に際しての注意点や、将来の進路に関するアドバイスもいただき、親として非常に心強く感じました。親元を離れて暮らす息子が、先生方の温かいご指導のもと、学びに真摯に向き合い、充実した日々を過ごしていることを確認できました。

改めまして、息子が本学に進学できたことを嬉しく思うとともに、大学関係者の皆様、後援会の皆様に心より感謝申し上げます。

水戸会場

福岡会場

仙台会場



東京電機大学後援会支援
電大生限定企画



券売機に並ぶ列 (東京千住キャンパス)

東京千住キャンパス

お得な3DAYS 300円メニュー

実施期間 2025年12月3日～5日

埼玉鳩山キャンパス

4COINS DAYS (400円食事割引券)

実施期間 2025年12月1日～12月24日

2025年12月に、より多くの学生にリーズナブルな価格で栄養価の高い食事や健康的な食生活を提供することを目的として、後援会からの支援補助金を活用したイベントを、各キャンパスにおいて実施いたしました。

利用者数

●東京千住キャンパス 2,460名 ●埼玉鳩山キャンパス 785名

昨年度に比べ、認知度がアップし、多くの学生さんがご利用いただき普段食堂を利用されない学生さんも、今回のイベントをきっかけにご利用いただき大盛況となりました。



立て看板 (東京千住キャンパス)



券売機に並ぶ列 (東京千住キャンパス)



学生食堂 券売機 (東京千住キャンパス)



食堂内の様子 (東京千住キャンパス)



割引券配布 (埼玉鳩山キャンパス)



食堂内の様子 (埼玉鳩山キャンパス)

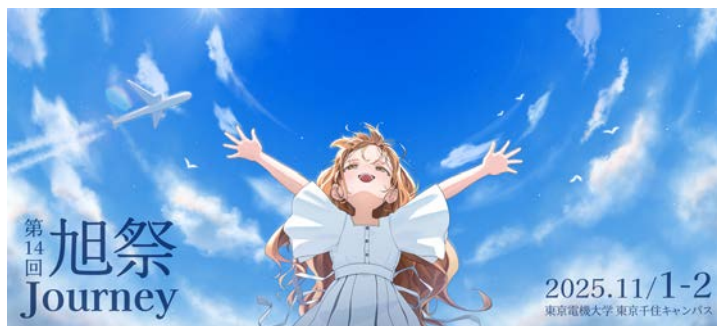


食堂内の様子 (埼玉鳩山キャンパス)

学園祭

2025.11.1 sat, 2 sun

東京千住キャンパス



第14回 旭祭 テーマ「Journey」

旭祭実行委員会委員長 後藤 滉貴
 二部旭祭実行委員会委員長 津久井 来夢



この度は後援会の皆様に、学園祭をご支援いただきましてありがとうございます。第14回旭祭は11月1日(土)、11月2日(日)に無事開催することが出来ました。2日間とも天気恵まれ快晴の中、開催することが出来ました。旅を意味する「Journey」というテーマには、特別な思いが込められています。東洋では「15」が完全を表すことから、その一歩手前である14回目の今年は、旭祭が「完全」へ向かって成長するための1年と考えました。準備期間を含めたこの1年間を成長の旅とし、旭祭が成長するよという意味を込めました。

動物と触れ合う展示企画、模擬店(14店舗)、お笑い芸人の方をおよびしたステージ等、広い年代の方に魅力のある企画を楽しんでいただくことが出来ました。例年を上回る数の学生団体の皆様にご出展いただいたため、教室の割り振りや屋台の配置、公演の時間調整など各団体の希望を最大限実現するためにはどう

したらよいか話し合いました。

過去最大規模の中で最高のパフォーマンスをしてくれた参加団体および実行委員のおかげで昨年度の来場者を上回り、8,200人でした。大きな事故もなく安全に大成功を収めることが出来ました。

また、二部旭祭実行委員会では、声優トークショー、たません屋台、ラジコン企画を実施しました。トークショーでは声優の方を2名お呼びし、例年通りの規模で盛況に開催することができました。屋台企画では前年の反省点を生かして準備を行い、当日は追加で買い出しに行くほどの大盛況となりました。昨年復活したラジコン企画では、一部でラジコンが動かなくなるトラブルはあったものの、多くの方に楽しんでいただくことができました。

本年度の旭祭が大きな成功を収めることができたのは、参加団体の皆様、実行委員、そしてご支援くださった後援会の皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。



学園祭

2025.11.1 sat, 2 sun

埼玉鳩山キャンパス



第49回 鳩山祭

テーマ「ハトフルフェスティバル」

鳩山祭実行委員会委員長 吉野 龍希

この度は後援会の皆様に鳩山祭をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

第49回鳩山祭は2025年11月1日(土)と11月2日(日)にかけて東京電機大学理工学部埼玉鳩山キャンパスにおいて行われ、「ハトフルフェスティバル」というテーマを掲げて開催されました。

ハトフルフェスティバルは鳩山祭とハトフルという言葉をもとにテーマ付けされており、来場者の方々を温かく歓迎し、鳩山キャンパスならではの癒しをお届けしたいという気持ちが込められております。

昨年の反省から、雨に対する不安が強かったため、今年度は屋内ステージの設置や備品の管理など雨への対策を多く取り入れてきました。

また、パンフレットやSNSに力を入れ、タイムスケジュールの記載や教室案内の明瞭化、イベント情報の告知などを行いました。

来場者の方から「タイムスケジュールに合わせてくることが出来てありがたい」とのお言葉をいただくこ

とが出来、大変喜ばしく感じております。

本祭二日間では晴天に恵まれ、中庭の模擬店で賑わう声や、ステージ企画からの明るい声が聞こえてきました。

また、スタンプラリーに奔走する人や夜空を彩る花火など、たくさんの思い出が鳩山祭を通して多くの方の心に刻まれたと感じております。

特に、一日に行われた芸能人企画では、600人を超えるお客様をホールにお迎えすることが出来ました。芸能人の方のサービスも寛大で、鳩山祭実行委員一同、感動しておりました。

ご来場、ご協力、ご支援いただいた多くの方々に改めて感謝申し上げます。

来年度はいよいよ鳩山キャンパスの半世紀を示す第50回となります。

今年度の改善点をもとに、新たな挑戦に取り組み、バージョンアップされた鳩山祭を作り上げていきます。





第23回

TDU アイデアコンテスト

開催結果報告

TDU アイデアコンテストは、学生自身の知識、興味、関心に基づいて、日常生活において不便に感じていることへの改良のアイデア、自由な発想による発明・アイデアや新規性のある発想を創出することを促進し、学生生活の活性化を図ることを目的としております。

第23回を数える今回は、問題「解決型」アイデア部門(社会や大学が直面する課題に対して、実現性のある具体的な解決策を考える部門)、問題「発見型」アイデア部門(日常生活に潜む「不便」や「困りごと」を発見し、その解決の方向性を考える部門)の二部門制での募集となりました。

令和7年9月16日(火)～11月7日(金)の募集期間を経て、応募作品は、20件(内訳:問題「解決型」アイデア部門16件、問題「発見型」アイデア部門4件)(昨年8件(部門制なし))となり、第一次審査は、提出書類による書類審査、第二次審査は第一次審査通過者4組が、各々のアイデアについて、審査員を前に対面形式でプレゼンテーションを行いました。

4組のプレゼンテーション終了後、大学が授与する優秀賞、奨励賞の2賞について、審査員が協議のうえ、各部門それぞれの受賞作品を決定いたしました。

また、協賛団体による特別賞は、惜しくも第一次審査を通過しなかった作品も含め、全応募作品を対象として協賛団体の方々に選考をお願いしました。

優秀賞

TDU 産学交流会会長賞

手が濡れない 傘

23RD046 貝瀬悠希
23RD099 鈴木麻央
23RD168 久富壮太

手が濡れない傘

申請代表者 理工学部 情報システムデザイン学系 3年 久富 壮太

概要 傘には、完全に開閉まで自動化されたものはほとんどない。特に「たたむ」という工程は、最も手が濡れやすく、使う人にとってストレスの大きい動作であるが、ほぼ手動で行われている。この点から、濡れずに開閉できる傘を実現しようというアイデア。

各受賞アイデア一覧

アイデア名・概要	申請代表者	受賞
SMART SORT アイデアの概要 誰もが簡単かつ正確にごみを分別できる家庭用自動分別ごみ箱「SMART SORT」というアイデア。	未来科学部 ロボットメカトロニクス学科 3年 石橋 璃久	・奨励賞 ・校友会理事長賞
学内コンシェルジュ アイデアの概要 学生要覧や履修ルール、大学メールをAIに取り込み、チャット形式で必要な情報を即座に提示する、また履修条件を考慮した時間割自動生成機能を備え、履修登録を効率化する、更に大学メールを自動で要約・分類し、LINE や専用アプリで重要通知として再配信するというアイデア。	理工学部 情報システムデザイン学系 2年 高橋 優輔	・奨励賞 ・経営同友会長賞 ・同窓会長賞
異物から マモルさん — 次世代型リサイクルボックスのデザイン — アイデアの概要 リサイクルボックスの二大課題である「異物混入」と「容積限界」を複合的なデザインと技術の統合により解決するというアイデア。	理工学部 情報システムデザイン学系 3年 松本 樹	・奨励賞
顔で入館。電大が描く次世代スマートキャンパス アイデアの概要 大学入館時の「カードをタッチする手間」と「不正入館のリスク」を解消する、AI 顔認証によるウォークスルー型入館システムというアイデア。	工学部 電気電子工学科 4年 片桐 弘人	・研究推進社会連携 センター長賞
dber Eats アイデアの概要 研究室やサークル室など、学内のあらゆる場所へ学食を届けるデリバリーシステム（配達は、学生アルバイトを雇用）を導入し、昼休みの学食の深刻な混雑を緩和するというアイデア。	工学部第二部 情報通信工学科 2年 小川 莉奈	・後援会長賞



東京電機大学

仲間づくり支援

近年、コミュニケーションが苦手な学生が増え、学生生活において友達がない学生が悩みを打ち明けることができないまま、退学に至ってしまうケースが見られております。そこで東京電機大学では、「大学での学生生活を充実させてほしい」また「卒業後も本学の卒業生として切磋琢磨し合える、一生付き合える仲間と出会ってほしい」という思いから、仲間づくり支援に力を入れております。

この仲間づくり支援には、①新入生に対する仲間づくり支援、②後期クラブ勧誘、③スポーツ大会、④リーダーズキャンプなどがあり、『学苑』では、年間を通して、本学の仲間づくり支援の取り組みについて、ご紹介する予定です。

今回は④リーダーズキャンプについての取り組みをご紹介します。

リーダーズキャンプ

東京千住キャンパス

埼玉鳩山キャンパス

2025年3月11日(火)に両キャンパス(東京千住キャンパス、埼玉鳩山キャンパス)にて対面(一部オンラインも活用)でのリーダーズキャンプが実施されました。

リーダーズキャンプは、次期学生団体の代表者を対象に、リーダーに必要な知識や素養を学べるプログラムを実施しています。昨年度の参加者は124名(東京千住キャンパス:93名、埼玉鳩山キャンパス:31名)の学生が参加しました。

今回のリーダーズキャンプでは、リーダーに必要な知識や素養を学んだほか、各教育機関や社会においても対応が急務とされている薬物使用防止講習とアルコール講習、先輩リーダー体験談、4月に行われる新入生オリエンテーション内で実施する勧誘方法や活動紹介方法の共有および検討などを行ないました。

当日行われた、薬物使用防止講習とアルコール講習では、「まずよくない事をやらざるを得ない空気にならない事がとても大切だと感じた」「サークル員が入っているインカレの後輩がお酒によって亡くなってしまったなどの話も聞いており、一層気をつける必要があると再認識しました」など学生団体内でリーダーとして影響を持つ学生が改めて学び直すことで、学生団体全体の啓発にも繋がっています。

また、先輩リーダー体験談についても「部会や委員会を存続させる上で多くの協力、責任が伴っていること、多くの人に頼りつつ仕事をこなしていこうと思いました」「1人でリーダーは誰もやりたがらない事をする人という考えが自身のリーダー像の参考になった」など、学生団体を運営するうえで参考になった様子でした。今年度のリーダーズキャンプは3月中旬ごろに行われる予定です。





硬式野球部

雑草魂

未来科学部 ロボットメカトロニクス学科 2年 宮原 光一



本年度、私たち硬式野球部は「2025年度後援会イベント参加支援」により、令和7年度新東京大学連盟秋季リーグへ出場する機会をいただきました。今回のリーグは、日頃の練習成果を試す場であると同時に、新しく加入した1年生と上級生も含めた大会で、部としての課題や強みを再確認する貴重な経験となりました。

秋季リーグに向けて、私たちは春から継続して基礎力の向上に取り組みました。投手陣は制球力と変化球の精度向上、野手陣は守備範囲の拡大と状況判断力の向上を重点に置き、打撃面では「自分のスイングを貫く」という共通意識のもと、個々が課題に向き合いながら調整を行いました。リーグを通して、練習で積み重ねてきたことが試合で表れる場面も多く、チームとしての成長を感じることができました。

また、部として掲げた「最後まで諦めず粘り強く戦う」姿勢は、全員が大切にしてきたものです。どんな展開でも声を切らさず、仲間を支え合い、チーム全体で流れを引き寄せようとしながら楽しく試合を進めていこうとする雰囲気は、部の大きな強みです。結果以上に、仲間と共に戦い抜いた経験や、そこから得た気づきが今後の活動の大きな財産とな

りました。

通常の活動については、私たちの部は専用グラウンドを持たず、不定期で外部のグラウンドを借りて練習を行っています。また、練習に必要なボール代やその他消耗品の購入も必要となるため、後援会費のご支援は日々の活動を継続するうえで欠かせないものとなっています。限られた環境の中でも、質の高い練習ができるよう、部員全員が工夫しながら取り組んでいます。今後は、今回のシーズンで見つけた課題を改善し、守備の安定化や打線の強化などチームとしての課題はもちろん、個々としての課題を解消していくことが出来るように自主練習をし、次のステップにつながる取り組みを進めていく予定です。

最後に、私たちの活動を日頃より支えてくださっている後援会の皆様に、心より感謝申し上げます。練習環境の確保やリーグ戦への参加が実現できているのは、皆様からの温かいご支援があつてこそです。今回の経験を糧に、これからも部として成長し続けられるよう努力してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

土田 寛教授

未来科学部建築学科

「都市デザイン研究室」

研究室の紹介

都市デザイン研究室は、土田寛教授をはじめ5名の教員と約30名の学生で構成されています。都市空間を形づくる際の全体性や社会性を通じて、建築および都市空間を相対化・社会化することを目指し、都市空間の計画・設計、景観創造、公共空間の形成など、建築と都市を社会的視点から捉える研究を行っています。卒業設計では、研究活動で得た知見を活かし、明確な背景や問題意識に基づいた説得力のある提案を行います。特徴的な活動として、学内一級建築士事務所「TDU ARCHI Design Labo」（土田教授が代表理事）でのインターンシップを通じて、都内のイタリア街のまちづくり計画やオープンキャンパスPR企画など、実務的なプロジェクトに取り組んでいます。ヒューマンスケール、美しさ、場所らしさ、分かりやすさをキーワードに、実践的な都市デザインを学べる環境です。

研究内容

私たち都市デザイン研究室では、都市空間を多角的に捉えるため、主に領域班・空間班・景観班の3つに分かれ興味や研究手法の近いメンバー同士が協働しながら研究を進めています。班に分かれることで、近い分野の先輩や同期と密に日常的にミーティング（議論）を重ね、専門性を深めながら研究に取り組める体制を整えています。

領域班では、市街地整備やその施設配置、土地利用などを対象に、都市内に存在するさまざまな構成要素

今回は、未来科学部建築学科 土田教授の都市デザイン研究室を訪問させていただきました。本研究室では都市デザインを軸に、都市の将来像や景観、都市空間と建築群、公共空間のあり方について研究し、人間尺度や美しさ、場所らしさ、分かりやすさを大切に研究を行っています。

当日は、研究生の大学院生3名から各々の研究発表をしていただき、学苑委員の皆さまも興味深く耳を傾けていらっしゃいました。

の関係性や人々の活動範囲を平面的に捉え、都市全体の構造や文脈、流れを広域的な視点から分析します。空間班では、公園や街路、広場といったパブリックスペースに着目し、人が実際に知覚できる立体的な空間の在り方や使われ方を通して、都市空間が人の行動や意識に与える影響を探ります。景観班では、建築物の連なりや街並み、再開発地区などを対象に、通りからの眺めや視覚情報を景観として立面的に捉え、都市の構成や歴史的な変遷を読み解きます。またそれぞれの班の研究は相互に関連し合っており、班を超えての活発な議論や意見交換を通じて、より実践的で多角的な都市デザインの理解を深めています。



製作した模型



学生からの研究発表

発表 1



森本 楓さん (学部4年)

私は、中心市街地活性化基本計画をもとに、計画書における「賑わい」という言葉の具体的内容と特徴を明らかにする研究を行っています。今回の研究室訪問では、「賑わい」の意味や実現方法について発表しました。緊張もあり、伝えたい要点を十分に伝えられなかった点は反省ですが、父母の方々温かく聞いてくださり、気負いせず発表することができました。とても貴重な時間を過ごすことができました。

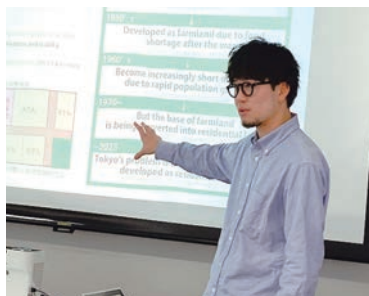
発表 2



本谷 慶さん (修士1年)

本研究は大学キャンパスを分析し、都市空間整備に応用可能な知見を得ることを目的としています。図面や文献からキャンパスの変遷を分析し、建物とオープンスペースが一体となった空間が大学のアイデンティティを強化することを明らかにしました。そして今回の発表では、親御さん方が丁寧に話を聞いてくださり、意見交換を行うことができました。研究内容を分かりやすく伝えることの重要性を改めて実感し、非常に有意義で貴重な時間となりました。

発表 3



鈴木 優斗さん (修士2年)

修士に進んでようやく氷山の一角を理解できたなど実感するくらいに都市にまつわる研究分野は広いです。中でも私は、2025年5月にカナダで開催されたEDRA56での発表内容を元に、今回の研究室訪問の発表させて頂きました。東京の市街地の形成過程という、その土地の歴史を絡めた研究テーマであり、何気なく日常生活を送っていても目を向けられないような内容だったと思います。研究室訪問に来てくださった父母の方々には、どの程度研究内容をお伝え出来たのか図りかねますが、時折うなずいて下さる様子を見て、ご理解頂けたと思います。

東京電機大学の学生について

少子高齢化の流れは着実に国や社会の変化を顕在化させているのが今の状況です。大学という研究教育機関も圧倒的な競争的であった受験戦争の時代は過ぎ、旧帝国大学であっても優秀な学生を輩出しつつもその後のキャリアのあり方が外資系やIT企業者であるような時代となっています。グローバル経済が人件費を利益追求との関係で経費扱いする中で、人の気持ちや手作業、さらには頭脳労働まで消費型に思考される中であって、本物のクリエイターとして、企画、計画、デザイン、それらのマネジメントまで担えるような能力開発が求められます。本学の学生らは基本的には中庸的な才能と学力ではありますが、“好きこそものの上手なれ”と言われるような技術やデザインが本当に好きで、かつ真面目に取り組む地力を有してきましたし、これからも育成されるプラットフォームを築きたいと考えます。



土田 寛 (つちだ ひろし) 教授 プロフィール



2010年 9月 東京電機大学未来科学部建築学科 准教授
 2012年 10月 東京電機大学未来科学部建築学科 教授
 2020年 4月 一般社団法人 TDU 建築設計事務所 代表理事

未来科学部建築学科 教授

専門分野 都市デザイン・都市計画・プロジェクトデザイン・エリアマネジメント

所属学会 日本建築学会・日本都市計画学会・人間・環境学会・一般社団法人 火葬研

『卒業生による仕事研究セミナー』を開催



『卒業生による仕事研究セミナー』は本学の伝統行事であり、最大の就職支援行事です。

今年度も大学同窓会との共催で対面とオンラインの2つのスタイルで開催しました。対面開催においては、12月16日(火)に199社の企業の卒業生と約1,600名の学生が参加しました。オンラインは1月26日(月)～28日(水)の3日間で120社の企業の卒業生と述べ250名を超える学生が参加しました。

本セミナーは修士1年生、学部3年生が中心ではあるものの、全学年対象としています。会場には大学院進学予定の学部4年生や学部1・2年生の姿もありました。また、この日のために当日は授業休講日としており、大学全体がこのイベントを重要な位置づけとしていることがわかります。

対面開催の会場は東京・埼玉の両キャンパスからもアクセスが良い渋谷を選びました。全体が見渡しやすいように1フロアでの開催とし、会場全体が熱気に包まれました。

当日参加した学生は、卒業生の説明に熱心に耳を傾け、活発に質問していました。学生からは、「卒業生が自分の経験を交えて話をしてくれた」、「対象として考える業界の視野が広がった」などの好意的な意見が目立ちました。企業からは「非常に多くの学生と会えた」、「学生の意欲がとても高く驚いた」他大学ではこのようなイベントがない。東京電機大学の学生は恵まれて

いる。」と好評価を得ることができ、対面かつ大規模会場での実施の利点を再確認することができました。

一方、オンライン開催においては、学生は慣れた様子でセミナーに参加し、こちらも活発に質問が飛び交っていました。オンラインならではの「参加しやすさ」の利点を生かすことができました。

本セミナーは社会で活躍する卒業生と直接対話をする中で、自らの将来を具体的に思い描き、進路選択に役立てることを目的としています。今後も卒業生が活躍する企業との出会いを大切にしながら学生には自分にとって最良の進路を選択して欲しいと願っています。

最後になりますが、後援会から多くのご支援をいただき成功裏に終えることができました。改めてお礼を申し上げますとともに今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



学費等の納入について

次年度分の学費等納入通知書(振込用紙)につきましては、それぞれ次のとおり発送いたします。

【振込用紙発送時期】

学部等	前期分	後期分
システムデザイン工学部/未来科学部/工学部/理工学部/大学院全研究科	4月上旬に前・後期分をまとめて郵送	
工学部第二部	5月下旬	10月下旬

学費等の納入期限は次のとおりとなります。(納入期限が金融機関の休日にあたる場合は、その翌営業日となります。)

【学費等納入期限】

学部等	前期分	後期分
システムデザイン工学部/未来科学部/工学部/理工学部/大学院全研究科	4月末日	10月末日
工学部第二部	6月10日	11月10日

東京電機大学では、学生ひとりひとりが健康で安心した学生生活を過ごすことが出来るように、**本学学生と保証人の皆さまを対象**とした「T・D・Uこころからだのサポート24」をご用意しています。

24時間電話健康相談サービス

●夜間/休日などに受診できる医療機関を教えて…等。

0120-304-210

受付時間 24時間・年中無休

ご利用に際して

- ※学生ご本人と保証人の方がサービスをご利用になれます。
- ※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
- ※携帯電話からもご利用になれます。



メンタルヘルスの カウンセリングサービス

●大学に馴染めない。学校へ行きたくない…等。

0120-304-210

<https://consult.t-pec.co.jp/service/5a97d2>

受付時間

- カウンセリング受付**
電話：9～22時(年中無休)
WEB：24時間・年中無休(返信は数日を要します)
- 面談カウンセリング受付**
電話：月～金 9～21時(日曜・祝日
土曜 9～16時(12/31～1/3を除く))
WEB：24時間・年中無休
(受付後、日程調整のお電話をさせていただきます)



ご利用に際して

- ※学生ご本人と保証人の方がサービスをご利用になれます。
 - ※国外の相談および国外からの相談等はお受けできません。
 - ※その他、ご利用に際しての諸条件がございます。
- お電話にてお気軽にお問い合わせください。

～春季休業期間を迎えるにあたって～

【薬物乱用防止について】

薬物の危険は意外なほど身近に迫っています。薬物乱用の最大の怖さは、依存です。一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使うまへの状態に戻らないと考えられています。

インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分が脳に作用して様々な不具合を引き起こします。特に成長期にある若者の脳に対して影響が強いことも判明しています。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。

- 薬物のない学生生活のために(文部科学省) https://www.mext.go.jp/content/20231218-mxt_kenshoku-000033160_1.pdf



【特殊詐欺加害防止について】

特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪をいいます。

怪しいアルバイトがあったら、まずは疑ってみてください。そして楽をして大金を稼げるアルバイトは存在しないことを心に刻んでください。中には割りの良いアルバイトがあるかもしれませんが、しかし少しでも怪しいと思ったら色々とネットで調べてみることで。友人や家族、先輩など周りの人に相談してやることをお勧めします。一人で決めない、悩まないが鉄則です。

- 特殊詐欺加害防止 特設サイト(東京都) <https://www.kagaiboushi.metro.tokyo.lg.jp/>



【いわゆる「闇バイト」の危険性について】

SNSやインターネットの掲示板には、仕事の内容を明らかにせずに著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されています。簡単に高収入を得られるなら、と応募して、強盗や詐欺といった犯罪に加担することとなり、逮捕された人が多くいます。絶対に手を出さないでください。

- いわゆる「闇バイト」は犯罪実行者の募集です(警察庁)
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzaishaboshu.html>



「学校法人東京電機大学サポート募金」は、寄付者の意思を尊重し用途を指定できる恒常的な募金活動として、2013年4月より開始いたしました。

2025年度は「奨学金の充実」「施設・設備の充実」「課外活動への支援」「その他」「ファンドdeサポート」の用途区分で募金活動を行い、799件、144,835,405円(内ご父母99件、1,080,285円)のご寄付を賜っております。(2025年12月31日現在)

皆様から温かいご支援を賜り心より厚く御礼を申し上げます。いただきましたご寄付につきましては、ご指定の用途区分に従い、有効に活用させていただきます。

引き続き皆様のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

学校法人東京電機大学 理事長
 学校法人東京電機大学サポート募金委員会委員長
 渡辺 貞綱

●学校法人東京電機大学サポート募金の寄付状況 (期間:2025年4月1日~2025年12月31日)

寄付者区分		使 途	奨学金	課外活動	施設・設備	その他・指定なし	合 計
ご父母	大学	大学院	0件 0円	0件 0円	7件 63,000円	6件 35,094円	13件 98,094円
		工学部	3件 25,000円	1件 10,000円	11件 122,000円	11件 79,719円	26件 236,719円
			工学部第二部	0件 0円	9件 18,000円	1件 50,000円	4件 63,704円
		理工学部	2件 33,000円	0件 0円	9件 82,500円	8件 157,611円	19件 273,111円
			未来科学部	0件 0円	1件 10,000円	2件 20,000円	11件 194,026円
		システムデザイン工学部	0件 0円	4件 40,000円	2件 35,000円	7件 41,631円	13件 116,631円
			中学校 高等学校	35件 739,800円	40件 878,500円	49件 1,067,850円	10件 98,934円
	大学後援会 中学校・高等学校 PTA 関係	0件 0円	0件 0円	0件 0円	0件 0円	0件 0円	0件 0円
		卒業生・教職員・法人等	193件 10,810,580円	53件 1,611,000円	62件 4,405,000円	258件 124,143,456円	566件 140,970,036円
	計		233件 11,608,380円	108件 2,567,500円	143件 5,845,350円	315件 124,814,175円	799件 144,835,405円

寄付者顕彰制度について

学校法人東京電機大学では、寄付者の皆さまのご厚意に感謝の気持ちを込めて、ご寄付いただきました金額の累計を基準とした寄付者顕彰制度を設けております。

1. 顕彰対象者選出基準
財物の寄付金額の累計が所定の基準額に達した個人
2. 顕彰内容

寄付累計額	授与する称号	顕彰者数	内容
1,000万円以上	寄付荣誉賛助員	18名	寄付者顕彰式へのご招待 学内諸行事等へのご招待 時節のご挨拶状送付(※学内関係者除く) 記念品贈呈
500万円以上	寄付名誉賛助員	16名	
100万円以上	寄付賛助員	194名	

[募金に関するお申し込み・お問合せ]

■募金事業室
 Tel: 03-5284-5143
 E-mail: bokin@jim.dendai.ac.jp

語学研修(短期海外留学)のご案内

東京電機大学では、多様な短期海外留学プログラムを用意しています。海外経験がない方ももちろん、外国語によるコミュニケーション能力を高めたい方、将来長期留学を考えている方にもおすすめのプログラムです。



● 2026 (令和 8) 年度 主な留学プログラム (予定)

* プログラムの実施、内容、費用等については年度や世界の情勢により変更になる場合があります。

	国・地域	内容	留学先	実施期間	単位認定	滞在	概算費用(自己負担)
夏季海外留学	アメリカ	英語	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	8月 (3週間)	あり	ホームステイ	約77万円
	カナダ	英語	ビクトリア大学	8月 (3週間)	あり	学生寮	約75万円
	イギリス	英語	ケンブリッジ大学ホマートン校	8月 (2週間)	あり	学生寮	約120万円
	ベトナム	英語	FPT大学	8月 (3週間)	あり	ホテル	約30万円
	アメリカ	STEM ^(※1)	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校 ^(※2)	8月 (2週間)	なし	学生寮	約45万円
春季海外留学	アメリカ	英語	カリフォルニア州立大学サンマルコス校	2月 (3週間)	あり	ホームステイ	約75万円
	オーストラリア	英語	クイーンズランド工科大学	2月 (3週間)	あり	ホームステイ	約51万円
	ベトナム	英語	FPT大学	2月 (3週間)	あり	ホテル	約30万円
	オーストラリア	STEM ^(※1)	クイーンズランド工科大学 ^(※2)	2月 (3週間)	なし	ホームステイ	約60万円
	フランス	PBL	ENSM ^(※3) (フランス国立高等精密機械工学大学院大学) ^(※3)	3月 (1週間)	なし	学生寮	約35万円
	ベトナム	インターンシップ	FPT大学	2月 (3週間)	なし	ホテル	約10万円
	台湾	中国語	中原大学	3月 (3週間)	なし	学生寮	約24万円
	韓国	韓国語	全北大学校	2月 (2週間)	なし	学生寮	約17万円
	インドネシア	文化体験	ヌサンタラ・マルチメディア大学	1月 (1週間)	なし	学生寮	約16万円

※1 Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) の頭文字を取った言葉で、これら4分野の総称。工学的思考力、問題解決力、創造性を育むプログラムです。

※2 大学院生・本学大学院進学予定者(4年生)対象 ※3 機械系・電子系学生対象

● プログラム紹介 — カリフォルニア州立大学サンマルコス校 (英語研修)

カリフォルニア州立大学サンマルコス校は、サンディエゴ近郊に位置する比較的新しい大学です。周辺には山や砂漠、南カリフォルニア有数のビーチなどがあり、メキシコとの国境までは車で約1時間の距離です。自然に恵まれ、安全で、最先端の設備を備えた環境で学ぶことができます。

プログラムの特徴

1. アクティビティを通じた実践的な英語学習
2. 地元の人々や現地学生との交流
3. 空港施設見学、ボランティア活動など多彩なイベント
4. 野球観戦などのオプションツアー
5. 現地日本人担当者による手厚いサポート



● 奨学金 (2026年1月現在)

短期海外留学プログラムに参加する方に対し、海外派遣支援奨学金(給付)が支給されます。

研修総額	奨学金
7万5千円未満	研修費用全額
7万5千円以上 20万円未満	7万5千円
20万円以上 40万円未満	10万円
40万円以上	15万円

● 問い合わせ先：国際センター (TEL:03-5284-5208 / E-mail: tdu-inter@dendai.ac.jp)

東京電機大学後援会ホームページ

後援会のお知らせや事業紹介、父母懇談会の日程、『学苑』のバックナンバーなどを掲載しています。



ぜひご覧ください。
今すぐQRコードからアクセス！

東京電機大学後援会



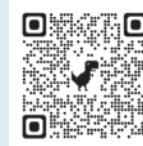
アゴラ 学園広報誌「TDU Agora」

「TDU Agora」では、毎月、本学の学生・生徒並びに教員の活躍、大学、中学校・高等学校の取り組み、イベントなど、沢山の情報をお届けしています。是非ご覧下さい！



「TDU Agora」はこちらから
ご覧いただけます

TDU Agora



大学の事務取扱は、その内容により担当部署が分かれております。お問い合わせなどは下記の部署にご連絡ください。

学業関係 授業、試験、成績など

●工、工2、未来、システム	
東京千住キャンパス事務部(教務担当)	03-5284-5333
●理工	
理工学部事務部(教務担当)	049-296-0430

学生生活関係、奨学金、クラブ活動など

●工、工2、未来、システム	
学生支援センター(学生厚生担当)	03-5284-5340
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0496

就職関係 就職、アルバイトなど

●工、工2、未来、システム	
学生支援センター(キャリア支援・就職担当)	03-5284-5344
●理工	
理工学部事務部(学生厚生担当)	049-296-0489

進学関係 大学院進学、学部の転部、編入学など

●全学部	
入試センター	03-5284-5151

学費関係 授業料、手数料など

●全学部	
経理部(会計担当)	03-5284-5131

国際交流関係 留学生、短期海外英語研修など

●全学部	
国際センター	03-5284-5208

後援会関係 父母懇談会など

●全学部	
後援会事務局(学生支援センター(学生厚生担当))	03-5284-5340

※工=工学部、工2=工学部第二部、理工=理工学部、未来=未来科学部、システム=システムデザイン工学部

後援会へのご意見はこちらへ

後援会では、東京電機大学がより良い大学となるよう活動を展開したいと考えております。

つきましては、ご子女を通学させる中で、日頃感じている問題点や要望など、率直なご意見をお聞かせくだされば幸いです。

メール gs_kouenkai@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5340

『学苑』第173号(非売品)

2026年2月発行

発行 東京電機大学後援会

発行者 新澤 佳代

印刷 東京アート紙行株式会社

東京電機大学後援会事務局

(学生支援センター(学生厚生担当))

Tel: 03-5284-5340 Fax: 03-5284-5391

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/tdupfa/top.html>